

改革実行計画「明日の県立図書館」の策定と実践



三重県立図書館（三重県津市） <http://www.library.pref.mie.lg.jp/>

基本データ（数値はH25年現在）

住所	津市一身田上津部田 1234
電話番号	059-233-1181
人口（図書館が所在する市町村）	28万人
職員数（うち有資格者数）	41人（21人）
蔵書数	848,666冊
登録者数	28,161人
年間貸出冊数（H24）	353,287冊

目的・趣旨

改革実行計画「明日の県立図書館」により、県内の市町立図書館等と一体的な取組を行いながら、県の中央図書館として、全県域の県民が等しく、質の高いサービスを受けられることをめざす。

取組概要

- 「明日の県立図書館」
三重県立図書館改革実行計画として、平成23年度から4年間の取組方針をまとめたもの。策定にあたり、全職員が参画し、事務局に外部アドバイザーを迎えるなど、現場感覚と県民の視点を意識している。
- 着実な計画の進行管理
4月にアクションプログラムを公表し、毎月の進行管理会議、3か月ごとに開催する図書館協議会、毎年1月に行うフォーラムなど、外部評価も交えたPDCAによる進行管理を行っている。
- 市町立図書館と企画連携
全県域で、質の高いサービスを提供するため、県立図書館と市町立図書館が企画部門でも連携しながら、全県で政策的に展開している。
企画、広報物制作、イベント運営など県立図書館が自前でを行い、市町立図書館とタイアップしている。

特徴

（事例1）
「東北を知ろう、東北へ行こう！」
キャンペーン
東日本大震災からの復興支援及び本県での危機管理意識の醸成のため、東北地方の歴史や文化の紹介、災害ボランティアに関する情報提供、観光パンフレットの提供などを行う。平成23年度から毎年夏期に実施し、県内の大半の図書館で展開されている。

（事例2）
「熊野古道伊勢路を歩く」展
2014年に世界遺産登録10周年を迎える熊野古道伊勢路をテーマに、伊勢路が通る市町の図書館で、ポスター展示やトークライブを開催した。



「東北を知ろう、東北へ行こう！」
キャンペーンポスター



「熊野古道伊勢路を歩く」展
フライヤー

取組の成果と今後について

- （成果） ・市町立図書館との連携が充実してきた。
・内外の関係者からの積極的な企画の提案が増えている。
- （今後） ・「明日の県立図書館2」を策定し、取組を継続していく。
・新たな連携先を積極的に開拓していく。